



やさ

と

85/3

一町の人口一

3月1日現在 前月比

男 14,501 +14

女 14,612 +11

計 29,113 +25

世帯数 6,593 +3

№.357 昭和60年3月15日発行 茨城県八郷町役場 (電話 02994 (3) 1111代) 中村謙一 印刷 やさと印刷所



## オリエンテーリング大会

第7回町民オリエンテーリング大会が、3月10日、総合運動公園をスタート地点に行われました。

大会には、約320名が参加し、7コースに分かれて競技されました。優勝は次の方々です。

〈男子A〉真家英俊・藤岡英保・奥村勝己組 〈男子B〉竹林秀雄・北原修一・田中秀一・海野真実・坂本敏行組 〈男子C〉鈴木良一・野山誠一・磯部英則組 〈女子A〉関仁美・鷹羽さち江・藤川裕美子組 〈女子C〉土師久美子・土師由紀子・長谷川真由美・杉崎さおり・菅谷佳名子組 〈家族〉藤岡英博・藤岡しのぶ組 〈混合〉高桑定男・高桑幸子組



## 主 な 内 容

○みんなで行く社会教育のつどい——2～3P

○科学万博—つくば'85——4～5P

○みんなの公民館——6P

○八郷今昔③——7P

# みんなで行う

## 社会教育の集い

### 「二つの分科会に別れて熱心に討議」

「みんなで行う社会教育の集い」が、豊かで明るい町づくり推進を目的に、二月二十四日、中央公民館で開催されました。

当日は、約百三十名が参加して、二つの分科会に別れて熱心な討議が繰り広

げられました。また、分科会終了後、全体会や筑波大学教授辻功先生による「みんなで行くろう私たちの地域」と題した講演会が行われました。

分科会で討議された主な内容は次のとおりです。

#### 第一分科会

テーマ 「青少年の人間形成に大人はどうかかわるべきか」

#### 目標を持たせ、個々の才能を生かせる教育を

●農家は、出稼ぎをしないと現在の生活の維持ができない。出稼ぎに力を入れるあまり、子どものしつけが滞りがちである。

また、学校は、高校への進学率を上げるべく努力はしているが、生徒の中には高校へ

進学したものの、ついていけない者がある。

出稼ぎをして教育投資をしても無意味ではないか。もつと目標を持たせて、一人ひとりの才能を生かせるような教育を実践すべきであろう。

●物質文明にとられすぎたためか、青少年は家庭や社会から断絶している傾向にあるのでは。一つ一つの家庭が健全になれば、それらをくい止めることができるであろう。

●小中学生は、物事に対して感動・感激することがない。話しかけても、「別に」ということばで片づけてしまう風

潮がある。

横浜のある団地で、子どもは平衡感覚を培うためにも、電車やバスに乗ったときは座席に腰を下ろさず、お年寄りなどが乗車してきたときは、必ず席を譲る運動を地域ぐるみで行った。今後の当町でも参考になるのではないか。

#### もつと子どもとのコミュニケーションをとる

●共働きで、子どもとのコミュニケーションの機会が少なく、話しかけられても「あとで」のことばで振り切ってしまう。そこに親子の断絶と

第一分科会



いったものが、子どもの心に芽生える。

「あとで」を親が使うと、子が「別に」といったことばを言うようにつながっていく。家庭の具体的なことば、ふれあいのことばのやりとりを大切にすることがある。

●大人がもう少し道徳観念を胸に手をあてて考え直すべきである。それは家庭のしつけに関連してくる。神事仏事の習慣化している家庭には伝統行事があり、そのようなものを通して子どもの性格づくりを行ってはどうか。

●子どもと一緒に食べ物を作り、手作りの料理を親子で味わうことが、情操教育にとって大切なことであり、現在欠けている部分ではないか。

大人自身が子どもたちの手本となる態度を

●一番大切なのは、本音と建て前が、昔と比べると広がっているの、それをどう縮めるかにある。例えば、父親の立場で立派なことを言っても、実際は朝寝坊をしたり、出先から電話しなかったりする。

●当町では、オアシス運動を以前から実施しており、それなりに成果は上がっていると思われるが、まだまだ大人がいきつけない風潮があり、子どもをしつける前に、地域ぐるみで実践する必要がある。

●大人と子どものふれあいの場が少なくなっている。老人会などで協力をいただき、昔の遊び方やおもちゃの作り方などを子どもに教えてはどうか。地区公民館が核となり、地域各層のふれあいの場を作っていくことが青少年の人間形成上、最も重要なことである。

## 第二分科会

テーマ 「地域社会における住民活動はどうあるべきか」

### 花いっぱい運動

●どんな花を植えたらよい  
か、どんなところへ植えたら  
よい。空地、土地がない。  
●公共施設の庭、神社、空  
地、路肩等を利用してはどう  
か。  
●この運動を行政的に行う  
か。  
●予算の面で難しい。

●自主的活動として行うか。  
●人間の心の豊かさを育て  
る面から、各家庭、各地区で  
咲かせて行くことが大事では  
ないか。

●農村地域と市街地とでは、  
進め方も大きな差があるので  
はないか。

各団体における啓もう活動  
はどうか。

●行政の貧しい財政に頼ら  
ず、自主的に実践母体が話し  
合い啓もうし、自主活動とし  
て強力に進めていこう。

### 「フラワーロードづくり」

●路肩が固くて、なかなか  
掘れない。雑草が  
はびこって退治し  
切れない。肥料分  
がない。

●有機質肥料を  
十分に与える。石  
灰を使用して酸性  
土を改良する。

●行政側は「現  
在、点在する花を  
フラワーロードと  
して線にしたい」  
ようだが、これは  
非常に問題が多い  
ので、むしろ雑草  
のない道路をつく  
ることの方がよい  
のではないか。

●金をかけ、手をかければ  
花は咲く。しかし花いっぱい  
運動は住みよい町づくりの一  
つの手段で、共に汗する中で  
地域のコミュニティづくりを  
することだ。

### 地域向上のための住民活動はどうあるべきか

#### 「クリーン作戦」

●空き缶は町道には割合少  
ないが、県道には多くあとを  
断たない。

●ゴミ収集日に関係なく、  
集積所へ持って来る者がいて、  
近くの者は困っている。

●環境衛生課が主体で、ク  
リーン作戦が年二回、十一月  
と三月に行われている。県道  
わきのやぶ、山などには、お  
びたらしい空き缶、ゴミが見  
受けられる。他町村からの通  
行人によるものが多いのでは  
ないか、と思われる。

●拾うクリーン作戦に参加  
することより、捨てる心にブ  
レーキをかけさせるためにも、  
県道わきのやぶ掃除を行おう。  
●拾って無くなるものでも  
ないが、捨ててあると捨てる  
心にやましさが無くなる。捨  
てやすくなるので、拾う努力  
を続けて行くことがよいので  
はないか。

### 国民年金保険料が

四月から六千七百四十円に

国民年金保険料が、四月から現行の六千二百二十円か  
ら六千七百四十円に改められます。

年金の支払に必要な費用は、年金を受ける方が増加し  
ていることや、昨年五月にさかのぼって実施された、特  
例スライド（二パーセント）による年金額の引き上げな  
どのため、年々増加しています。

一方、この年金の支払に必要な費用は、加入者の皆さ  
んが納めている保険料とその利子、および国庫負担（年  
金給付のき）により賄われています。

年金財政を健全に運営するためには、支出と収入のバ  
ランスを保つ、すなわち増加する年金の支払に必要な費  
用に見合う収入の増加を図る必要があるというわけです。  
生活を支える大切な年金制度を、将来にわたり健全に  
運営してゆくため、保険料の引き上げについて皆さんの  
ご理解とご協力をお願いします。

※保険料を前納すると割引されます。

四月三十日までに翌年三月までの一年分を一括納付し  
ますと、定額保険料で千九百五十円、付加保険料を含む  
と二千七十円の割引になります。

### 小河原・高橋両教育委員が

再任されました。

一月三十一日で任期満了となった、町教育委員の小河  
原四郎氏（教育長）と高橋敬郎氏が、二月一日付をもつ  
て再任されました。

お二人は、昭和五十八年三月に教育委員に就任され、  
町教育行政の振興に尽力され、今回、再度ご活躍願うた  
め、再任されたものです。

# 科学万博 一つくば'85



○入場券は事前に

○会場周辺の交通規制にご注意を

「人間、居住、環境と科学技術」をテーマとした国際科学技術博覧会が、いよいよ三月十七日から九月十六日までの期間で開かれます。約百ヘクタールの会場に国内出展二十八企業・団体、海外出展四十六カ国・三十七国際機関が出展参加しての科学の祭典です。今月号では、入場券や駐車場などに関する身近な情報をいくつかお知らせします。

## 各種割引入場券をご利用ください

会場の入場券売場は大変な混雑が予想されます。入場券は事前にお買い求めください。町観光協会（役場開発課内）では、普通入場券のほか、各種割引入場券を取り扱っています。なお、入場券の年齢区分は、開催日の三月十七日が基準となっています。また、特別割引・中人券等を利用される場合は、その資格を証明する書類が必要となります。別会場に設けられた「一つくばエキスポセンター」への入場は、万博入場券で入場できます。つまり、一枚で両会場への入場ができるわけです。

## ラジオ「科学万博放送局」が開局

会場周辺には、三カ所の駐車場が整備され、乗用車約一万九千台、大型バス約六百台が収容できます。駐車場から会場までは、動く歩道エキスポラインやピストンバスで結ばれます。会場周辺の道路は、進入禁止や一方通行等の交通規制が行われますので十分注意してください。なお、期間中、ラジオ「科学万博放送局（AM855KHZ）」が開局され、道路交通情報や催し物に関する万博情報などが放送されますのでご利用ください。

### ◎ 駐車料金

|        | 乗用車    | 大型バス   | マイクロバス |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 日    | 1,500円 | 5,000円 | 3,000円 |
| 16:00~ | 800円   | 3,000円 | 1,500円 |

大型バスの駐車場は原則として予約が必要です。

### ◎ 駐車場開閉時間

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| 3/17~4/25 | 開場 8:30 → 閉場 20:00 |
| 4/26~9/16 | 開場 8:00 → 閉場 22:00 |

### ◎ 駐車場、会場間の移動

- 東駐車場……動く歩道（エキスポライン）、ピストンバス（無料）
- 西駐車場……徒歩
- 南駐車場……ピストンバス（無料）

### ◎ 入場料金

| 種 類     | 料金(円)     | 適 用 範 囲                                                               |
|---------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 普通入場券   | 大人 2,700  | 満23歳以上の方                                                              |
|         | 中人 1,400  | 満15歳以上23歳未満の方                                                         |
|         | 小人 700    | 満4歳以上15歳未満の方                                                          |
| 夜間割引入場券 | 大人 1,400  | 午後4時以降に入場される方                                                         |
|         | 中人 700    |                                                                       |
|         | 小人 400    |                                                                       |
| 特別割引入場券 | 大人 1,400  | 身体等の不自由な方、満70歳以上の方                                                    |
|         | 中人 700    |                                                                       |
|         | 小人 400    |                                                                       |
| 回数割引入場券 | 大人 12,000 | 5枚組で、1人で1枚ずつご利用いただけます。多人数の同時利用もできますが表紙から切り離しての使用は無効です。                |
|         | 中人 6,000  |                                                                       |
|         | 小人 3,000  |                                                                       |
| 家族割引入場券 | 大人 2,800  | 大人・小人各1人、または中人・小人各1人の組合せがあります。ただし、土・日・祭日・振替休日、及び8月13・14・15日はご利用できません。 |
|         | 中人 1,700  |                                                                       |
|         | 小人        |                                                                       |

この他、一般・学校団体割引券があります。（町観光協会では扱っていません）

## 日本初の連節バス

土、日、祭日など混雑が予想される場合は、なるべく鉄道やバスをご利用ください。

土浦駅東口や万博中央駅からは、会場までノンストップで走るシャトルバスが運行されます。中でも万博中央駅から運行されるスーパーシャトルバスは、日本で初めての連節バスで、長さは約十八メートル、一度に約百六十名の乗客を運びます。中央駅から会場までの十三キロメートルを

## 未来の輸送システム

会場内では、各パビリオン出展のほか、レールに接触せず磁気浮上して走るリニアモーターカーやミニモノレール、ゴンドラリフトなどが運行されます。

また、お年寄りやお子さんの体の不自由な方々の会場内の移動にご利用いただくために、ポレポレバス（ミニバス）が走ります。

約二十分で結びます。

## 多彩な催し いばらきパビリオン

今 新しい未来のために

—— 自然・科学・人間 ——

茨城の自然を象徴する筑波山をモチーフとしたいばらきパビリオン。前面に「庄屋風長屋門」をデザインしたステージと三千人を収容できるおまつり広場、その周辺にステージと調和する「日本風家屋」を配したバザール広場が設けられています。

パビリオンでは、茨城の歴史、風土、芸術、文化、科学技術、産業などが、日本初の地球スクリーン映像と巨大立体パノラマで紹介されます。地球スクリーンを使用した映像シアターでは、「茨城の自然・科学・人間」をテーマにダイナミックに展開され、上映時間は十分間、収容人員は三百名です。

会場周辺図



## ◎ 公開時間

|           | 3/17~4/25  | 4/26~9/16  |
|-----------|------------|------------|
| 会場公開時間    | 9:30~19:00 | 9:00~21:00 |
| パビリオン公開時間 | 9:30~18:30 | 9:00~20:30 |

## ◎ 会場内乗物料金

|           | 大人<br>12歳~69歳 | 小人<br>4歳~11歳 | 身体障害者・<br>70歳以上の方 |
|-----------|---------------|--------------|-------------------|
| リニアモーターカー | 500円          | 300円         | —                 |
| ミニモノレール   | 500円          | 300円         | —                 |
| ゴンドラリフト   | 500円          | 300円         | —                 |
| ポレポレバス    | 300円          | 200円         | 100円              |

シャトルバス料金は各コースとも600円です。



# 作品入選者発表

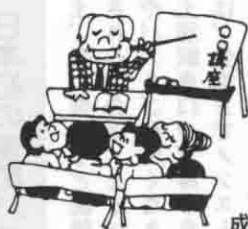
## オアシスの和

### 心と心のふれあい!



八郷町に住んでる皆さんが声を掛け合い、より明るく和やかな、潤いのある家庭や地域づくりをしようと毎年「オアシス運動」を推進しています。オオはようございますア ありがとうございます シ しつれいします ス すみません この体験事例や意見等の募

## 紙上講座



成人教育 ⑨

### 「親の背中(せなか)」

「子どもは親の背中を見て育つ」とよく言われています。子どもは、困難やつまずきに負けずに頑張っている親の生き方「背中」を見ていますが、親として「いい背中」を見せていれば、いい子に育つのかというと、そうばかりはいかない。まじめに働き、社会のために貢献している人でも「子どもがうまく育っていない」という例がよくあります。

私たちは「背中」が立派でも、子どもと向き合うときの「正面」の姿がだめなときがあります。仕事や社会的な活動で疲れて帰宅する。つい外で見せるような姿勢(背中)を失って、ぐちっぽくなり、子どもにじゃけんになり、話しかけられても返事をしないことなど、よくあります。

子どもは、立派な親の「背中」だけでなく、温かい、愛情に満ちた笑顔の「正面」をいつも望んでいます。

一指導 富田文治社教指導員一

なお、入選者の作品の一部を来月から紹介します。

#### ◇小学生の部

○勇気がいったあいさつ

小桜小四年 原田麻貴子

○朝のあいさつ

「おはようございます」

園部小二年 大槻 智宏

○みんなでおはよう

小幡小一年 島田 彩野

○心をこめて一言

吉生小五年 江良 宏美

○あいさつが出来るように

柿岡小六年 塚田 哉子

○気もちよく「おはよう」を

芦穂小一年 井川 洋一

○「おはよう」のひとつが

朝日小六年 酒井 和雄

○すみませんはむずかしい

恋瀬小四年 渡辺真紀子

○朝の一言

林小六年 磯山 弘美

○おはようのあいさつ

瓦会小三年 平岡かずえ

○ぼくの家のオアシス運動

東成井小三年 菱沼 邦夫

#### ◇中学生の部

○あいさつと勇気

園部中三年 飯村あけみ

○心からの一言

南中二年 小林由香利

○「ある体験から」

有明中二年 比企 理恵

○すばらしいオアシスを

柿岡中一年 小河原美也子

#### ◇高校生の部

○私の考えるオアシス

八郷高二年 荒井恵美子

#### ◇一般の部

○いつまでもオアシスを大切に

南山崎 島田美登里

## 図書コーナー

○「菩提」柿岡 吉田 次郎

○「世界の料理」二十三冊

柿岡 岡本 宏子

○「応仁の乱」他二十四冊

大増 青木 祥太

○「銅鐸の謎」他二十五冊

半田 島田 一夫

○「禅・現代に生きるもの」

他十四冊 柿岡 加藤 諄司

○「日本むかしばなし」二冊

半田 関 昌子

○「詩と反逆と死」他三百三十一冊

小幡 河野 容子

○「続教育は死なず」他二十八冊

東成井 鈴木 武利

○「女の警察」他九十四冊

片岡 杉山 正

○「村長日記」他八十六冊

片岡 市塚 義則

○「青空浪人」他五十七冊

下林 谷山 邦夫

○「月刊マイコン」他九冊

片野 大村 義夫

○「太極拳のすすめ」

土浦 鈴木 まさ

皆さんからたくさん本の

寄贈、ありがとうございます。

さっそく、公民館図書とし

て、有効に活用させていただきます。

きます。

写真右は、昭和37年当時の金指～高校線。  
(の八郷農協本所付近から北町方面を望む)

写真下は、同地点から望んだ現在のもの。  
昔の面影はほとんどなく、左側の土手にわず  
かに残るのみです。



## 八郷今昔③



### 芦穂小学校屋内運動場

芦穂小学校屋内運動場がこのほど完成し、さっ  
そく授業に活用されています。

昨年7月から建設が進められていたもので、小  
学校の屋内運動場としては4番目の建設となりました。

〈芦穂小学校屋内運動場の概要〉 ▶建設場所  
大字小屋1054番地 ▶工期 昭和59年7月16日～  
昭和60年2月18日 ▶延床面積 695㎡ ▶構造  
鉄骨造り一部2階建て ▶事業費(本体、電気工  
事、設計監理料) 1億59万円 ▶建物の内容 運  
動場、舞台、卓球練習場、機具置場

※芦穂小学校屋内運動場は、郵便局の簡易保険か  
ら一部融資を受けて建設されたものです。

完

成

し

ま

し

た

### 小桜地区公民館

昨年9月から建設を進めていた小桜地区公民館  
が完成しました。

町では、公民館建設を年次計画で進めてきまし  
たが、小桜地区公民館の完成によって町内8地区  
の公民館(類似施設含む)の整備がすべて完了し  
ました。

〈小桜地区公民館の概要〉 ▶建設場所 大字川  
又746番地 ▶工期 昭和59年9月25日～昭和60  
年1月31日 ▶延床面積 471.442㎡ ▶構造 鉄  
骨造り平屋建て ▶事業費(本体・電気工事・設  
計監理料) 6,680万円 ▶建物の内容 大会議室、  
小会議室、和室、調理室

※小桜地区公民館の建設費の一部は、国民年金積  
立金環元融資を受けています。



## 第25回町民武道大会開催



第二十五回町民武道大会が二月十七日、八郷

高校を会場に開かれました。各種目の優勝は次の方々です。

- 〈柔道〉▽団体中学生の部 柿岡Aチーム ▽個人一般の部 大塚一郎(小幡) ▽同中学二年男子の部 嶋田広司(柿岡中) ▽同中学一年男子の部 荒井茂志(柿岡中) ▽同小学生高学年の部 穂積敏哉(つくばねスポーツ少年団) ▽同小学生低学年の部 飯田真一郎(つくばねスポーツ少年団)
- 〈剣道〉▽団体戦中学生の部 柿岡Aチーム ▽個人一般の部 大場優(佐久) ▽同中学二年男子の部 渡辺伸雄(柿岡中) ▽同中学一年男子の部 浜田幸司(有明中) ▽同中学女子の部 小沢やよい(柿岡中) ▽同小学生高学年の部 前沢義徳(園部剣友会) ▽同小学生低学年の部 大槻道子(園部剣友会)
- 〈弓道〉▽総合 山口隆男(柿岡) ▽団体競射の部 菊地功・鈴木由美子・飯塚克己組 ▽個人射詰一般の部 足立喜次(柿岡) ▽同射詰高校生部 関直美(八郷高) ▽同競射一般の部 山口隆男(柿岡) ▽同競射高校生の部 飯塚克己(八郷高)

## 各地のき事

### 浦須地区で敬老会

二月十七日、林浦須地区で、地区内の七十歳以上の

お年寄りを招いて、敬老会を行いました。この敬老会は、地区の若いお嫁さんたちで作っている「あゆみ会」が中心となり、お年寄りの長年の苦勞

に対する慰勞と感謝をこめて行われたものです。あゆみ会は、浦須集落センターの落成を期して結成されましたが、同センター視察者の接待や昔ながらの「さなぶり」「風祭り」などの催しを地区ぐるみで行い、その中心となり活躍しています。

今回の敬老会も、同センターを会場に、あゆみ会の皆さんの手づくりの料理やお酒が用意されるなど、お年寄りの皆さんにたいへん喜ばれました。



## 昭和59年町死亡状況

昭和五十九年の八郷町の死亡状況は、前年に引き続き、脳血管疾患が圧倒的に多く、七十七名となっています。なかでも、五十歳代の若さで六名の方が脳卒中で亡くなっていることは残念なことです。

全国平均の脳卒中中の死亡率一・二二・八(人口十萬比)に対し、八郷町は二・六五・二と高率になっています。また、第二位の心疾患も全国一・一・三に対し、八郷町では一九六・三と高率です。全国では第一位を占め

ている悪性新生物(がん)については、全国一四八・三よりやや下まわり一三四・三となっていますが、徐々に増加傾向にあります。これら成人病といわれる脳卒中、心臓病、がん、八郷町死亡率の六四%を占めています。

これらの成人病は、食生活など若いときからの予防が大切です。町では成人病を早期に発見し、治療できるよう循環器検診や胃・子宮がん検診等、各種検診を行っています。しかし、その受診率は循環器検診五一・八%、胃がん検診一二・三%、子宮がん検診八・六%と低率です。

特に、各種がん検診は、がんの早期発見治療により治療するものとなりつつある現在、もっと多くの人ががん検診を受けてほしいと思います。がん検診は、三十歳から、循環器検診は四十歳からです。必ず年一回は受けるようにしましょう。

## 町死因別死亡状況(59年中)

| 死 因     | 人数  |
|---------|-----|
| 1 脳血管疾患 | 77人 |
| 2 心疾患   | 57  |
| 3 悪性新生物 | 39  |
| 4 肺炎    | 24  |
| 5 自殺    | 18  |
| 6 交通事故  | 14  |
| 7 慮の事   | 12  |
| 8 呼吸不全  | 6   |
| 9 糖尿    | 4   |
| 気管支喘息   | 4   |

また、八郷町で特に多い脳卒中は、もう一度日常生活を見直し、塩分制限等の知識が実生活において実行されるようにしてほしいと思います。

## 立志式に空き缶拾い

園部中学校の2年生、60名が、園部郵便局から羽鳥駅前までの約4kmの県道沿いで、空き缶拾いの奉仕活動を行いました。

この奉仕活動は、2月4日、立春の日に行われた立志式の記念にと、式終了後約2時間にわたり行われたものです。



**高校生父母の会で  
看板を設置**

八郷高校生父母の会では、三月五日、自動二輪車の無謀運転の自粛を求める立て看板の設置を行いました。

看板は、最近特に、自動二輪車の無謀運転が目立つ、町道辻、朝日峠線に三カ所、また、町道湯袋線に三カ所の合計六カ所に設けられ、自動二輪車の安全運転を呼びかけました。

また、父母の会では、このほか、親子球技大会や講演会、機関紙の発行などを行い、青少年の健全育成のための活動を行っています。



## 未受診者を対象に総合検診

町では、毎年、循環器・胃・子宮がんの定期検診を実施しています。しかし、受診する方は対象者の約6割程度です。

そこで、町では初の未受診者を対象にした総合検診を行いました。今回は、瓦会地区（2月8日）と林地区（3月1日）の未受診者を対象に行いましたが、しかしその結果は、▶循環器検診対象者1778人中299人受診、▶胃がん2659人中344人、▶子宮がん1381人中195人、▶結核1677人中230人、——という低いものでした。

町死亡原因の約7割を占める循環器疾患やがんの早期発見、早期治療のために「自分はいじょうぶ」と思わず、年に一度は必ず検診を受けましょう。



## 短歌

吉田次郎選

春耕の畑の土塊ほのぼのと温き陽光に淡く匂ひり

東成井 小池 亀太郎

高齢化社会となりて六十は老後にあらずと地下足袋を履く

金指 小松崎 嘉代

嫁ぎ来し頃は若水を釣瓶にて亡夫と汲みたりき三十年過ぐ

月岡 萩原 照子

## 俳句

大岡昇山選

み社の大樹に風の千切れあり

東成井 大和田 利

夫の旅一衣加えし余寒かな

東成井 東 鳴

春雨の闇に消えゆく救急車

東成井 安達 利男

## 俚謡

大木嶺月選

牛の歩みを笑つちやならぬ馬にや引けない御所車

下林 鈴木 弦月

牛の背に乗る打出の小槌友の賀状の絵が嬉し

下林 鈴木 竹の舎

思いがけない昔の友に逢ふて梅観の宴となる

東成井 東 鳴





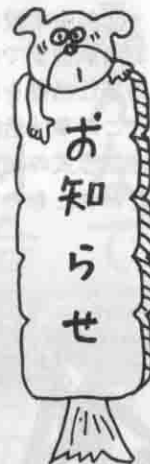
わがめのついでに

鴻巣 和人<sup>かつひと</sup>ちゃん (小野越)

父 武司さん 母 たつ子さん  
昭和57年7月2日生まれ(長男)  
家族からの一言 玩具より台所用品の方がおもしろいようで、将来はコックさんにでもなるのかなと話しています。

お手伝いも良くしてくれます。素直に育つことを願っています。

看護婦等の免許を持つ  
ている在家庭の皆様へ



県では、住民の皆さんの医

療の確保と向上を目指して、  
「看護専門職として自覚ある  
皆さん」の参加を求めています。

郷土の患者さんのため、ま  
た地域保健活動の向上のため、  
あなたの持っている豊かな経  
験と知識とを社会に生かして  
みませんか。  
茨城県看護婦等無料職業紹  
介所では、看護婦(士)、准

看護婦(士)、保健婦、助産

婦の免許を持つている方を対  
象に、職業紹介と看護業務に  
関する相談を無料で行ってい  
ます。どうぞ、お気軽にご利  
用ください。

申し込みは、履歴書、免許  
証を持って紹介所へおいでく  
ださい。

▼相談日時

○月・金曜日 午前九時から

午後四時三十分

○土曜日 午前九時から午前

十一時三十分

○日曜、祝日は休み

※詳しくは、〒三一〇水戸市

三の丸三一・二二三一、茨城

県看護婦等無料職業紹  
介所(☎〇二九二二  
五―八五七二)へ。

自動車税は正し  
く申告を

次の事項に該当する  
場合は、自動車税の申  
告をしてください。

▼他人に譲渡したとき  
▼使用不能で滅失、解  
体したとき

住所等の変更をしたとき

正しい申告がなされない  
自動車税がいつまでも課税さ  
れたり、変更前の住所に納税  
通知書が送られるなど、トラ  
ブルの原因になります。必ず  
申し出てください。

※詳しくは、茨城県土浦県税

事務所(☎〇二九八二二一

八五一) または茨城県陸

運事務所(☎〇二九八二二

一八一)へ。

なお、昭和六十年四月一日  
から茨城県陸運事務所の名称  
が次のように変わります。業  
務内容等は従来通りです。

4月の納税

固定資産税 第1期  
国民健康保険税 第1期

わがめのついでに



谷島 久美子<sup>くみこ</sup>ちゃん (瓦谷)

父 孝さん 母 美也子さん  
昭和58年11月21日生まれ(長女)  
家族からの一言 「オンモー。オン  
モー」と外へ出たがります。  
男の子みたいにヤンチャですが、  
縫いぐるみや動物の好きな、女の子  
らしい面もあります。  
日、一日のオシャレが楽しみです。

▽関東運輸局茨城陸運支局土  
浦自動車検査登録事務所

筑波農林研究団地  
の一般公開案内

国民全体が科学技術に目を  
向け理解を深めるために設け  
られた「科学技術週間」が、  
四月十五日から始まります。

農林水産省では、同週間に  
ちなんで、筑波研究学園都市  
内に設置されている同省関係  
の試験研究機関を次のとおり  
公開します。

▼公開日時

昭和六十年四月十八日(木)、  
午前十時から午後四時まで

▼公開機関

・農林水産技術会議事務局筑

八郷町の火災・救急出動件数  
(昭和60年中)

|    |     | 2月中 | 累計  |
|----|-----|-----|-----|
| 火災 | 建物  | 0件  | 1件  |
|    | 野火  | 0   | 2   |
|    | その他 | 1   | 4   |
|    | 合計  | 1   | 7   |
| 救急 | 急病  | 18件 | 34件 |
|    | 交通  | 12  | 23  |
|    | その他 | 4   | 11  |
|    | 合計  | 34  | 68  |

※詳しくは、筑波郡谷田部町  
観音台二一―二、農林水産  
技術会議事務局筑波事務所(☎  
〇二九七五―六六七二二九)

波事務所 ・ 農業研究センタ

ー ・ 農業生物資源研究所

・ 農業環境技術研究所

産試験場 ・ 林業試験場

・ 農業土木試験場

・ 蚕糸試験

場 ・ 家畜衛生試験場

・ 食品総合研究所

・ 熱帯農業研

究センター